

合志市総合計画進行管理 【合志市総合政策審議会意見・指摘事項】

審議日 令和3年8月4日 及び 書面審議

市総合政策審議会意見・指摘事項の基礎となった個別意見（番号入り）を付記していますので、参考ください。

1 市民参画によるまちづくりの推進

【自治会や子ども会、老人会などの地域活動団体等への加入促進を行うこと】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 自治会加入促進について、加入のメリットが伝わる仕組みづくりに努めること。
- ② コロナ禍により、増々、自治会、子ども会、老人会離れが進み、役員のなり手不足にもなっている。組織維持のため人材確保、育成に努めること。

【ウィズコロナ社会においても、参画しやすい機会の提供や情報発信に取り組むこと】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① コロナ禍での参画機会の提供、また参加できる取り組みを行うこと。
- ② ボランティア活動への参加意欲がある人は多いと思われるが、参加しやすい活動の紹介（HP等）、共助の仕組みづくりが必要。コロナ禍でも可能な活動、ボランティアを必要とする活動の情報発信や情報に触れる機会づくりを行うこと。

【地域資源の活用と地域魅力の発掘により、市の代表的な魅力として、PRできるものを創出すること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 農業公園を中心とした既存施設（高専、農大、学園大グラウンド、九沖農研）を一体化した農業を主としたイベントの開催を行うこと。
- ② 合志市の魅力発掘とそのPRを行うこと。（合志市といえば〇〇〇のイメージ）

2. 行政改革の推進

【職員の人材育成と効果的な組織運営を行うこと】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 職員の適材適所の配置を行うこと。
- ② SDGsを見据えた持続可能な取り組みができる組織と職員の意識改革を行うこと。

- ③ ICT 知識を全職員が身につけること。
- ④ 他課にわたる知識をもつ職員を育成すること。

【デジタル化に対応した市民サービスの向上を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 高齢者や機械の操作に不慣れな人への対応窓口を充実させること。
- ② 窓口での手続きがスムーズになるよう支援が必要な人専用の窓口を設置する。
- ③ コンビニでの証明書発行を進めること。
- ④ スマートフォンの利用促進のため講座を各地域で行うこと。

3. 財政の健全化

【税収増につながる取り組みを検討すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 高等学校、大学等を設置し市内産業を支える人材の育成を図ること。
- ② 合志市内で創業を希望する者に対する環境整備等の支援を図ること。
- ③ 空家を活用し、UIJ ターン就職を希望する市外在住者に対する環境整備等の支援を図ること。また就業先の確保に努めること。

【地域活性化のため魅力あるまちづくりに努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 合志市内外の人が消費行動を起こすようなイベントの実施、施設整備、商品開発を行うこと。

【引き続き適正な財政運営を行い、滞納者減少するような取り組みを行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 財政運営に支障がないような新規事業を選定し、円滑に行政運営ができるようにすること。
- ② 滞納処分を適正に行うこと。

4. 子育て支援の充実

【子育て世代が安心して子育てができる環境づくりを推進すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 自治会と行政が協力し、地域とつながりを築けるような環境を整備すること。
- ② 子育て世代が集いやすいイベント（決まった時間に実施するのではなく、自由に集まれる）の実施もしくは施設整備を検討すること。
- ③ 各小中学校のまわりに横断歩道だけではなく『ゾーン 30』の設置及び『スクールゾーン

- ン』規制を検討すること。
- ④ 友人づくりのきっかけとなり登校時に安心できることから、一部の小学校だけでなく、他の小学校についても登校班を検討すること。

【引き続き、子育て世代への経済的負担軽減を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① まだ使用できるが不用となった物(チャイルドシート、ベビーベッド、保育園の靴など)の『おゆずり会(市主催)』の実施を検討すること。
- ② 現在、中学3年生までとなっている『こども医療費助成制度』について、高校3年生まで対象者となるよう検討を行うこと。
- ③ スポーツや文化活動で活躍している子に対する補助の金額の増額を検討すること。また、スポンサー探しのサポート等の実施を図ること。

【引き続き、待機児童対策などの充実を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 保育所増設の際の補助要件を緩和すること。(老朽改築の際の定員増の条件緩和等)

5 健康づくりの推進

【健康づくりに関する周知・啓発を行い、各種検診の受診率を上げること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 合志市民が他自治体と比較して罹患率が高い病気や疾病を公表すること。
- ② 定期的な健康づくりについての広報をすること。
- ③ 健康チェックができる場を各地区の公民館や地域の祭り、行事で行うこと。
- ④ 特定健診未受診者の理由を分析すること。

【誰でも気軽に健康づくりの取り組みが始められる環境の整備をすること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 学校を土日地域の人に開放して、軽運動ができる機会を与えること。
- ② 市民運動公園を作って、ジョギング・ウォーキングコースを整備する。
- ③ 弁天山公園や妙泉寺公園の駐車場を整備して多くの人が運動できる場にする。

6. 社会福祉の推進

【民生委員、児童委員のなり手不足解消に向けた取り組みを行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 民生委員、児童委員の役割を分かりやすく情報発信し、興味を持ってもらえるような取り組みを行うこと。

【福祉サービスを必要とする人が必要な時にサービスを受けることが出来る体制づくりを行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響で、生活困窮者などの増加への対応のため、専門員(ケースワーカーなど)の充実や関係機関等との連携、包括的な支援に努めること。
- ② 生活困窮者等の支援をしたい人、必要な人の窓口の周知と強化を行うこと。
- ③ 社協と民間企業の地域活動を連携させる取り組みの検討を行うこと。
- ④ 相談に繋がらず苦しんでいる人の支援、発見の体制を強化すること。
(SNSの活用。児童虐待、ヤングケアラーの支援のため学校、ケアマネなどと連携した地域の体制づくり。)

7 高齢者の自立と支援体制の充実

【高齢者へのウィズコロナ・アフターコロナの支援を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① コロナ禍で変化した高齢者の生活に応じた支援を行うこと。
- ② コロナ収束後の生活支援・自立支援の取り組みについて考えること。
- ③ 高齢者の健康指導(熱中症等含む)を行うこと。

【高齢者への各種支援の更なる啓発と充実を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 相談支援事業の更なる周知啓発を行うこと。
- ② 他自治体とのサービスの格差是正に努めること。

【高齢者の生きがいのための取り組みを推進すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 老人会継続のための支援を行うこと。
- ② 現在実施中の生きがいづくり事業の発展・充実を図ること。
- ③ 生きがいは本人の思い次第であるため色々な価値観が持てるよう、若いうちから生きがいづくりが準備できる場の提供を行うこと。

【企業等と連携し高齢者の雇用の推進を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 企業等と連携し、雇用の高齢者枠の導入について検討すること。

8 障がい者（児）の自立と社会参加の促進

【障がい者（児）やその家族への各種支援・相談体制の更なる充実・強化を図ること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 障がい者（児）の家族への各種支援・相談体制を充実させること。
- ② 障がい児の各種支援体制を充実させること。

【障がい者の就労支援の強化に取り組むこと】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 就労支援員の育成を行い障がい者の就労先の確保に努めること。
- ② 企業等へ障がい者の就労に関する周知・啓発を行うこと。

【障がい児の教育体制の強化に努めること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 障がい児の教育体制の強化に努めること
- ② 特別支援学級の適正な人材・人員確保に努めること。

9. 義務教育の充実

【少人数教育に対応した教員・補助員の配置をすること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① きめ細やかな対応ができるよう市費での補助教員の拡充。
- ② 学校教育活動指導員、教育介護補助員の適正配置をすること。
- ③ 特別支援学級には特別支援学校教諭免許状保有者を配置すること。
- ④ 保健室登校の児童生徒の支援相談体制の充実を図ること。

【学びの保障のために、学校での環境づくりを整えること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 子どもたちが快適に過ごせ学習に集中できるような教室環境を整えること。
- ② タブレットを有効に使えるような Wi-Fi 環境を整えること。
- ③ 教職員の質を上げるために教職員が研究する費用等を支援すること。

【地域・家庭と連携し、教育の充実を図ること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 家庭は、子どもたちの健やかな育ちの基盤であり、家庭教育は全ての教育の出発点であることを念頭に、家庭教育の大切さを啓発すること。

- ② 地域の中にある学校として、地域に門戸を開いて交流の場を設けること。

10. 生涯学習の推進

【イベントや講座等の内容、場所等は参加しやすいように努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 免許返納者等の自動車での移動が困難な人でも参加しやすい（公共交通機関で移動できる施設で実施する等）イベント、講座の実施に努めること。
- ② 子どもたちが合志市の文化、自然、良さなどを勉強し、合志市に住み続けたいと思えるようなイベント、講座について検討を行うこと。

【健康寿命の延伸を視野に入れた生涯学習を推進すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 『人生100年時代』と言われる高齢化社会の中で、身体と心を健康に保ち健康寿命を延ばすための取り組みの一つである『生涯学習』を推進すること。
- ② 要介護者・要支援者を減らすため、公民館施設を拡充し市民が積極的に参加できる仕組みづくりに努めること。
- ③ 高齢者向けの健康や生涯学習、スポーツなどに関する講話や講習会を地域老人クラブと連携して行うこと

【社会教育施設を利用しやすくなるように環境整備を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① イベントや講座等の内容を市のホームページからも調べやすいように変更すること。
- ② 体育館や設備等をオンラインで予約できるように環境整備を行うこと。
- ③ 子どもだけが参加できる市民講座の情報発信方法について、市ホームページや広報紙だけでなく、GIGA スクール事業（タブレットを活用する等）と連携し周知を行うよう努めること。
- ④ 合志市民で施設を多く利用する人に対し、施設利用料の負担を減らす取り組みについて検討を行うこと。

11. 生涯スポーツの推進

【誰もが気軽にスポーツができる環境を整備すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 土日の学校グラウンドを開放し、老若男女が軽スポーツできる機会をつくること。
- ② 土日祝日のグラウンドや公園等の市外者の利用を制限すること。
- ③ 施設使用料金を市民は無料にする、市外者は高くするなどして、市民がより利用しや

すいように取り組みを考えること。

- ④ 市民マラソン大会等のスポーツイベントを増やす。

【子どもを中心にスポーツの楽しさを伝え、スポーツを普及振興すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 子どもたちが様々なスポーツが体験できるような機会を与えること。
- ② マンガミュージアムや図書館にスポーツ関連の書籍を集め、子どもたちに読んでもらう工夫をすること。
- ③ 小学校部活動から移行した団体(スポーツクラブ)を保育園や小学校に案内すること。
- ④ プロスポーツを観る機会を増やすこと。

1 2. 人権が尊重される社会づくり

【引き続き、人権教育(学習)の機会の提供と学校教育でのさらなる人権教育・啓発に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 教育と啓発を継続していくこと。
- ② 菊池恵楓園の見学などを利用した学習、啓発を行うこと。
- ③ 家庭内での人権侵害、児童虐待、DVなどの防止のため、啓発や早期発見に努めること。
- ④ 若いうちからの人権啓発に努めること。
- ⑤ 恵楓園については、将来構想などの情報発信を行うこと。
- ⑥ 合志市は障がい者と共に生き、支え合う明るい市であることをアピールするための取り組みを計画すること。

【新型コロナウイルス感染症に関する人権教育を推進すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 新型コロナウイルス感染症に関する人権教育を行うこと。

1 3. 歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成

【文化財や歴史資料館等の更なる啓発を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 歴史資料館等の更なる啓発を行うこと。
- ② 市内の文化財等の全体マップの作成など分かりやすい周知啓発に努めること。
- ③ 市内への周知だけでなく、市外の周知にも努めること。

【伝統文化の後継者や語り部等の人材育成を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 語り部等の人材育成を積極的に行うこと。
- ② 各所に案内人(ガイド)の設置について検討すること。

【学校等と連携した郷土愛の醸成の取り組みを行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 子どものうちから興味を持ってもらうため歴史・文化を題材にした授業の導入を検討すること。

1 4 危機管理対策の推進

【感染症などの健康危機管理体制強化を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 子どもを預かる施設の職員について、住所地だけでなく勤務地でもワクチン接種ができるよう検討を行うこと。
- ② 効果的な危機管理対策ができていないため、一つの部署で対応するのではなく、各部署相互の連携を強化し効果的な対策を行うこと。

【防災メールの登録者を増やすための取り組みに努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 防災メールの登録者を増やすため、市ホームページや市LINEで提供している行政情報(緊急情報、新型コロナワクチン接種に関する情報等)を流してみてもどうか。
- ② 小・中学校などの安心安全メールと連携し、防災メールの周知を図ってみてもどうか。

【未曾有の災害に備えた危機管理対策の整備を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 地域の防災士を活用し、その地域の特性によった危機管理対策の指導について検討を行うこと。また広報紙・回覧板で周知を図ること。

1 5 防災対策の推進

【地域の防災体制、人材確保の維持に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 地域に防災士がいることを知らないなので、養成の取り組みやその役割をPRすること。
- ② 自治会、子ども会、老人会などの地域団体への加入促進により、情報連絡体制の強化を行うこと。

- ③ 日頃の近所付き合いの強化の推進に努めること。
- ④ ボランティア活動、地域活動の参加を促進する取り組みを行うこと。
- ⑤ 地域の見守り強化、信号機の通学路交差点への交通指導員の配置に努めること。

【災害弱者の把握や災害弱者支援体制を強化すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 災害弱者の把握、近所の助け合い等で、具体的に弱者を誰が助けるのか決めておく必要があるのではないか。見知らぬ人が来た場合に避難行動が取れない恐れもある。想定した日頃から声掛けする関係を作る仕組みづくりを行うこと。
- ② 要支援者名簿について、対象者の入所入院等による居住の有無について、最新の状況を把握できる仕組みづくりを行うこと。

【避難所の設定、誘導、感染症対策、安全対策など避難所環境の整備を進めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 指定避難所と車中泊場所の周知を強化すること。
- ② 避難所運営について、利用者から利用環境などについての意見（課題、問題点）を聴取し、対策を行うこと。
- ③ 避難所運営について、小さな子（授乳中）を持つ人などの視点を取り入れること。
また、子どもや女性も安全に過ごせる体制整備を行うこと。

16 交通安全対策の推進

【地域の見守りの充実を図り、子どもの通学路の安全に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 学校、地域の見守りと連携し、子どもたちが事故に合わないような環境づくりをすること。

【企業や学校等へ交通安全啓発を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 地域の企業に通勤時間を登下校の時間とずらしてもらうようお願いすること。
- ② 市内に立地する私立高校グラウンドへ通う生徒に交通マナーを守るよう学校と協議すること。
- ③ 交通被害者になりやすい子どもや高齢者に対する「交通安全教室」を定期的を実施すること。

【道路環境の整備や安全性能機能を整備した車の利用を推進すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 危険が伴う箇所の信号機の設置を県警に要望すること。
- ② 追突防止機能がある車を購入した者へ補助すること。

17 防犯対策の推進

【高齢者の消費者被害等防止のための教育強化を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 高齢者の特殊詐欺被害や消費者被害防止のため、教育強化を図ること。
- ② 高齢者世帯や高齢者単身世帯の見守りを民生委員以外でも人材の確保に努めること。

【学校における防犯教育と安全教育の強化を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 子どもへの声掛け事案やSNS被害、デートDVなどが増えている。万一、そういった状況に遭遇した場合や被害にあったときの対応について、実践(逃げる、声を出す、相談窓口(一人で悩む状況にしない)など)ができるように啓発や学ぶ機会を確保し、エンパワメントに関する取り組みを行うこと。

【空き家の防犯対策など地域の見守り体制強化を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 空き家について、放置による地域の治安に影響が出ないように対策を強化すること。
- ② 正しい情報伝達方法を検討すること。(SNS等の活用)

18 住環境の充実

【公園の適切な維持管理に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 公園の適切な維持管理を行うこと。
- ② 住民のニーズに応じた公園利用の検討を行うこと。

【引き続き空き家対策に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 今後、空き家が増えることが懸念されるため、早めの対策に努めること。

【雨水排水施設の適切な維持管理と計画的な雨水排水施設の整備・改修に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 雨水排水施設（調整池、雨水幹線等）の適切な維持管理を行うこと。
- ② 計画的な雨水排水施設の整備・改修に努めること。

19 水環境の保全

【水資源の保全に努め、周知啓発を図ること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 休耕田を活用して水を張って地下水の涵養を図ること。
- ② 市の水資源・水環境のDVDを作成し、学校へ配布し教育の場で活用すること。
- ③ 雨水タンクの設置補助について周知すること。

20. 水の安定供給と排水の浄化

【上下水道施設を適切に管理すること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 上下水道施設の適切な管理に努めること。
- ② 老朽化した配水管の布設替え（耐震化）を計画的に行うこと。

【水の安定供給に努めること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 水の安定供給を行う取り組みを積極的に行うこと。

【下水道事業の健全な経営を行うこと】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 下水道料金の改正の際は、市民等への説明をしっかりと行うこと。

21 廃棄物の抑制とリサイクルの推進

【ごみ減量化、資源化への啓発を強化し意識向上を図ること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 家庭ごみの減量化のため、生ごみ処理機の購入支援の強化を図ること。
- ② ゴミの分別、減量化について、引き続き啓発を続ける必要がある。また、ゴミの分別、減量化が進むことにより、ゴミ袋の値段が下がるなどの生活に直接繋がる施策の検討を行うこと。
- ③ ごみ袋の大きさに合わせた価格設定変更により、減量化を図ること。
（例えば「極小」の価格を下げて、「大」の価格を上げる等）
- ④ ゴミ袋の有料化による減少にはなっているがさらに進めるため指導徹底を図ること。

- ⑤ スーパー店舗での買い物かごの貸し出し（持ち帰り、後日返却）などの新たな取り組みの検討を行うこと。
- ⑥ ごみの減量化に向けて環境美化推進委員と協力し、参加型の学習会を開催すること。

【ごみ分別や出し方（マナー）の向上を図ること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① ゴミ出しマナー、分別ルールについて、個々の協力を得るための計画的な取り組みを行うこと。

【新環境工場を活用した学習などにより分別方法の徹底や意識向上を図ること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 環境工場見学による意識の向上を図ること。（子どもが学習→家庭で親に伝える）
- ② 日々の生活の中で、大人や市職員が率先して子どもたちのお手本となるような行動（自然を残す、ごみ出しのルールを守る等）に努めること。
- ③ 子どもたちとの共同で、合志市ならではのエコバック作成について検討を行うこと。

2 2 地球温暖化防止対策の推進

【再生エネルギー等を活用し、温室効果ガスの排出抑制を図ること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 牛のゲップに含まれるメタンガスが地球温暖化につながると言われている。オメガ3を含んだ餌にはゲップに含まれるメタンガスの発生を抑制する効果があることから、市内の牧場全てにオメガ3を含んだ餌の導入や導入メリットを図ってはどうか。
- ③ 学校給食等の残渣を活用して再生エネルギーに活用できないか検討を行うこと。

2 3 計画的な土地利用の推進

【国・県有地の有効活用について推進を図ること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 国・県有地の有効活用（企業誘致など）の推進を図ること。

【道路整備計画と併せた土地利用の推進を図ること】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 道路整備計画に沿った計画的な土地利用（開発行為）を行うこと。

【都市計画区域の見直しの際は、有効的な土地利用が可能なものにする】

（まとめの基礎となった個別意見）

- ① 市街化調整区域の規制緩和を県へ要望すること。
- ② 市北部の開発を計画的に進めること。(南北人口格差の是正)

【北熊本 SIC の利便性を活用した土地利用の推進を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 北熊本 SIC の利便性を活用した土地開発(企業誘致(商工業))を図ること。

2 4. 計画的な道路の整備

【住宅開発に先行した道路計画を立てること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 開発により交通量が増えているので、先を見通した道路計画を立てること。

【安全な道路環境を整備すること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 道路にせり出した樹木を定期的に伐採すること。
- ② 死角のない道路整備を行うこと。
- ③ 私道を整備する補助金を交付すること。

【渋滞解消のために公共交通の推進を含めた道路整備の検討を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 交通需要マネジメント(TDM)を進め、自動車の効率的利用や公共交通への利用転換を行うこと。
- ② 貸し自転車を駅や主要施設に配置すること。
- ③ 交通渋滞による経済損失を減らすため、公共交通機関の利便性を向上させ、通勤・通学に適したルート等の再編を検討すること。
- ④ 合志市内の国有地、県有地を有効活用し路線等の環境整備を図ること。

2 5 公共交通の充実

【地域の移動手段の確保のため、持続可能な公共交通を目指していくこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 通学や通勤に適した交通網の構築を図ること。
- ② 高速バスと絡めて、福岡県など県外からの利用客が活用しやすい交通網の構築を図ること。
- ③ コミュニティバスの運行時間に合わせた会議、イベントの実施を行うこと。

26 農業の振興

【IT技術を活用し、農業のスマート化の取り組みの充実を図ること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 農業者の高齢化が進んでおり、耕作放棄地の増加が懸念されることから、農業維持のためスマート農業に対応した農地整備を促進すること。

【新規就農者確保のための支援メニューを充実させること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 相続税が高く農地を手放さなければならないため、行政支援の下、農業を継いでいける体制づくりに努めること。
- ② 初めての方でも農業に参入しやすくするためのサポートを行うこと。
- ③ クリエイター塾のような、合志市独自の農業経営塾等の開催を検討すること。

【合志市の野菜等のブランド化を図り、市の農業のPRを行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 付加価値のある作物の栽培に努めること。
- ② 農業の魅力をPRする仕組みづくりを構築すること。
- ③ 市内の野菜、果物、乳製品をPRすること。

【優良農地の確保に努めること】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 住宅開発が進み、農地の一つ一つが狭くなっていることから、優良農地を確保するためにも計画的な都市開発に努めること。
- ② 住宅開発により子どもの稲作体験ができなくなった。次世代に農業を引き継いでいくためにも十分な農地の確保に努めること。

27 商工業の振興

【コロナ禍における地域経済活性化の取り組みを行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① コロナ禍における地域経済活性化の取り組みを行うこと。
- ② 地域活性化のための人材育成を積極的に実施すること。

【市内の商業施設等と連携し合志ブランド品の啓発を行うこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 合志ブランド品のPRの強化に努めること。

- ② 市内の商業施設と連携し合志ブランド品を PR すること。
- ③ 市の施設に合志ブランド品の自動販売機を設置しブランド品の PR に努めること。

28 企業誘致の促進と働く場の確保

【本市の環境や産業構造を踏まえた企業誘致に取り組むこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 企業誘致については、本市の産業構造や既存企業の業種、関連業種などの状況を踏まえ、方向性の統一を図ること。

【引き続き、多種多様な人材を確保する仕組みづくりに積極的に取り組むこと】

(まとめの基礎となった個別意見)

- ① 少子高齢化による労働力不足が深刻化しているためその確保を図ること。
- ② 市内企業に高齢者雇用の積極的な働きかけをしていくこと。